

かえる世界

学生時代、休みになると里に帰り、心の充電をして、また、都会の生活や学業に励んでいたことを思い出しました。実家では、何の心配もなく自由に思いどおりで
きる場所でした。しかし、家から出ることによって、色々なことに気づかされるこ
ともあるのです。

昔から「可愛い子には、旅をさせよ」と言われています。旅といえば、国内旅行
や海外旅行などがありますが、その旅が共通していることは、必ず帰ってくるこ
とです。言い換えますと、帰るところがあるから私たちは安心して旅を楽しむことが
できるのです。

親鸞聖人は、かえるところを「浄土」と見い出されました。ところが私たちは、
浄土がわからないので、目先のことにとらわれて、仏法の世界がわからないのです。
また、浄土のことを「無量光明土」とも表され「あらゆる命を育み、照らし、まも
る」はたらきがあると言われています。たとえば、私たちの見えないところで心臓
が動き、息をして、血液が流れ、また、色々な命に生かされています。

浄土の世界にかえるということは、阿弥陀さまの教えを聞き、人間に生まれた本
当の喜びに気づいていく事なのです。

